



総社のよさを伝え広める

観光の伝道師を育成

岡山県立大学を主会場に総社の観光とその魅力を学ぶ「総社観光大学」が、8月22日から26日までの5日間開学。主催した総社観光プロジェクト実行委員会は同大学で、全国に総社ファンを増やすための伝道師の育成に取り組み、卒業生24人に観光ナビゲーターとしての認定証をおくりました。



総社観光大学



古代山城の鬼ノ城を訪ねた受講生。壮大な城を目の当たりにした

光プロジェクトが平成22年3月、市に提出した報告書のなかの提言の一つ。総社の観光を体験した人の言葉によって、総社への観光客を増やしていこうとするものです。

民俗学者の神崎宣武さんは「古代吉備のロマン学」をテーマに、見て・食べて・

体験する20の講義を設定。東京や千葉などを含む市内外の27人の受講生は、神崎さんをはじめ、大学教授や見学先の関係者らと交流を深めながら、総社のよさや魅力を感じとっていました。

最終日、神崎さんは「実り多き5日間でしたね。総社の人や受講生同士のネットワークに期待している。総社を広める意味でも、このご縁を大きくはぐくん

総社観光大学をプロデュースした神崎宣武さんの講義を熱心に聞く受講生

ほしい」と、はなむけの言葉を送りました。
この大学の学長を務めた市長も、「市の観光の伝道師として大いに活躍され、うるおいのある人生を送ってほしい」と期待を込め、修了生を送り出しました。

「今回の縁をはぐくもう」



総社観光大学プロデュース

神崎 宣武さん

民俗学者／東京都台東区

岡山県立大学を主会場に開かれた「総社観光大学」(総社観光プロジェクト実行委員会主催)の全講義が終了した8月26日、市長から観光ナビゲーターとしての修了証を受け取った24人は、総社の観光を伝え広める伝道師として巣立っていきました。

この大学は、総社の観光のあり方を協議した総社観

